

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公表番号】特表 2019-537753 (P2019-537753A)

【公表日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【年通号数】公開・登録公報 2019-052

【出願番号】特願 2019-527513 (P2019-527513)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/22 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

E 0 6 B 9/24 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/22

G 0 2 B 5/20

E 0 6 B 9/24 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の離間した第 1 の領域を含む光制御フィルムであって、各第 1 の領域は、約 300 nm ~ 約 400 nm の第 1 の波長範囲、約 400 nm ~ 約 700 nm の第 2 の波長範囲、及び約 700 nm ~ 約 1200 nm の第 3 の波長範囲のうちの 1 つ又は 2 つにおいて実質的に低い透過率を有し、残りの波長範囲において実質的に高い透過率を有し、前記光制御フィルムは、所定の第 1 の方向に沿って約 70 度未満の第 1 の視野角を含む、光制御フィルム。

【請求項 2】

複数の離間した第 1 の領域、及び第 2 の領域を含む光制御フィルムであって、各第 1 の領域は、幅 W 及び高さ H、 H/W 1 を有し、各第 1 の領域は、所定の第 1 の波長範囲において実質的に高い透過率を有し、所定の重複しない第 2 の波長範囲において実質的に低い透過率を有し、前記第 2 の領域は、前記所定の第 1 及び第 2 の波長範囲のそれぞれにおいて実質的に高い透過率を有し、前記第 2 の領域は、前記第 1 の領域と交互になった複数の第 2 の領域区分を含む、光制御フィルム。

【請求項 3】

複数の離間した第 1 の領域、及び第 2 の領域を含む光制御フィルムであって、前記光制御フィルムの平面に対して垂直に入射する光については、

前記光制御フィルムの平均光透過率が、より短い波長を有する所定の第 1 の波長範囲において約 10 % 未満であり、

前記光制御フィルムの平均光透過率が、より長い波長を有する所定の第 2 の波長範囲において約 50 % 超であり、

前記光制御フィルムの前記平面から約 30 度以上で入射する光については、

前記光制御フィルムの平均光透過率が、前記所定の第 1 及び第 2 の波長範囲のそれぞれにおいて約 20 % 未満である、

光制御フィルム。

【請求項 4】

複数の離間した第 1 の領域、及び第 2 の領域を含む光制御フィルムであって、前記光制御フィルムに入射する光の入射角が前記光制御フィルムの平面に対して約 90 度から約 60 度に変化するとき、前記光制御フィルムの平均光透過率は、
より短い波長を有する所定の第 1 の波長範囲においては、約 10 % 未満に、及び
より長い波長を有する所定の第 2 の波長範囲においては、約 40 % 超に、
変化する、光制御フィルム。